

高校地理プリント（過去問類似）
地理A（旧課程の過去問） No.2

名前

得点

/10

問1 日本の農畜産物のうち、鮮度保持や輸送の制約、国内生産体制の確立などを背景に、現在でも国内自給率が約9割ときわめて高い水準を維持している畜産物は何か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 鶏卵 2. 生乳 3. 豚肉 4. 牛肉

問2 江戸時代に、それまで東京湾へと注いでいた関東地方の大河川の本流を、水害防止や舟運の整備、新田開発などを目的として、東の太平洋へと流路を変更した歴史的な事業を何というか。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 手賀沼の開削 2. 利根川の東遷 3. 荒川の西遷 4. 印旛沼の開削

問3 インドの連邦公用語に指定されており、主にインド北部を中心に同国で最も多くの人々に話されている、インド・ヨーロッパ語族に属する言語の名称を答えよ。（2005年 全国公立入試 類似）

1. ウルドゥー語 2. ベンガル語 3. ヒンディー語 4. タミル語

問4 地震に伴う大波の襲来が懸念される沿岸部において、近くに自然の山や丘がない平地に居住する住民が、上方へ迅速に退避できるように人工的に建設された鉄骨造などの高層構造物を何というか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 津波避難マウンド 2. 津波避難ビル 3. 津波避難シェルター 4. 津波避難タワー

問5 1990年代初頭のソビエト連邦崩壊という劇的な国家体制変革の後、ロシア連邦からの完全な独立を求めて、カフカス地方のイスラーム教徒を主体とする地域で激しい民族運動が展開された。これに対し、ロシア連邦政府が軍事介入や治安維持を名目とした弾圧を行ったことで、泥沼の戦闘へと発展し、周辺地域へ多くの難民や国内避難民が流出する事態となった。この一連の武力衝突を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. ダルフール紛争 2. ボスニア紛争 3. チェチエン紛争 4. ルワンダ紛争

問6 アジアの主要空港は、それぞれの地理的条件を活かしたハブ（拠点）機能を有している。アジアの各都市から太平洋を越えて移動する旅客の乗り継ぎ需要を多く取り込み、特にアジアと北アメリカを結び結節点として、北アメリカ方面への乗り継ぎ旅客数が圧倒的に多い特徴を持つ日本の国際空港はどこか。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 関西国際空港 2. 東京国際空港 3. 成田国際空港 4. 中部国際空港

問7 ヨーロッパ有数の農業国であり、EU最大の農業生産を誇る。主要穀物のうち、小麦やトウモロコシの自給率は150%を超える輸出大国である一方、気候条件などの理由から米の自給率は極めて低い国として、最も適当な国名を答えよ。（2025年 全国公立入試 類似）

1. フランス 2. イタリア 3. イギリス 4. スペイン

問8 大気中の二酸化炭素濃度は、植物の活動や化石燃料の消費などの影響を受けて変動する。陸地や森林が広く分布する北半球の中・高緯度地域では、季節による濃度の変動幅（振幅）が大きくなる。これに対して、植生がほとんど存在せず、周囲を広大な海洋に囲まれたある地域では、植物による二酸化炭素の吸収・放出がほとんど行われなため、季節による濃度の変動幅が極めて小さい。この特徴に該当する、昭和基地などの観測拠点が存在する地域（大陸）はどこか。（2007年 全国公立入試 類似）

1. 北極地域 2. 北極地方 3. 北極海 4. 南極大陸

問9 世界の農牧業と食料消費に関して、ヨーロッパでは混合農業などに代表される畜産業が盛んであり、生産・輸入された穀物の多くが家畜のえさとして消費される。このような、家畜の維持や育成のために用いられる穀物の用途を何というか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 燃料 2. 飼料 3. 原料 4. 食用

問10 近世の城下町において、外敵の侵入を防ぐ防衛上の拠点や、領内の宗教統制を行う目的から、城の周辺や主要な街道沿いなどの特定地区に寺院を集中的に配置することによって形成された街区を何というか。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 寺町 2. 町人 3. 寺社 4. 武家

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 鶏卵	日本の食料自給率は全体として低下傾向にあるが、この畜産物は鮮度保持が重視されることや、国内での効率的な生産システムが確立されていることから、自給率が約9割と非常に高い。牛肉や豚肉などの他の食肉類は輸入割合が比較的高いのにに対し、この品目は国内生産が大部分を占めている。
問2	答え 2 利根川の東遷	江戸幕府によって行われたこの事業により、利根川の本流は東京湾から東（太平洋）へと流路が変更された。利根川は日本最大の流域面積を持つ河川であり、その下流域にあたる取手から佐原にかけての約40kmの区間は、標高差が約4mときわめて平坦である。この区間の河川の勾配は約1万分の1と非常に緩やかであり、大雨の際には逆流や氾濫が起こりやすいという地形的特性を有している。
問3	答え 3 ヒンディー語	インドは多言語国家であり、憲法で22の公認言語が定められているが、連邦公用語として規定されているのはヒンディー語である。主に北インドを中心に全人口の約4割以上に話されており、最も話者数が多い。なお、南インドでは系統の異なるドラヴィダ語族の言語（タミル語など）が話されており、共通の連絡手段として準公用語の英語も広く使用されている。
問4	答え 4 津波避難タワー	地震によって発生する津波の被害を軽減するためには、浸水想定区域から迅速に高台へ避難することが重要である。しかし、平野部など近くに自然の高台がない地域では、垂直移動によって安全を確保するための人工的な施設が必要となる。このような目的で建設された施設が津波避難タワーであり、東日本大震災以降、南海トラフ巨大地震などの対策として各地の沿岸部で整備が進められている。
問5	答え 3 チェチェン紛争	1991年のソ連崩壊後、ロシア連邦内のチェチェン共和国では、独立を求める武装勢力と、連邦の分裂を阻止しようとするロシア政府との間で、1994年以降に二度にわたる大規模な武力衝突が発生した。この紛争では、ロシア軍による激しい空爆や掃討作戦が行われ、首都グロズヌイをはじめとする都市が破壊され、多くの市民が犠牲になるとともに、隣接するイングーシ共和国などへ多数の難民・国内避難民が逃れる事態となった。
問6	答え 3 成田国際空港	アジアと北アメリカを結ぶ大圏航路（最短ルート）上に位置する地理的優位性から、アジア諸国から太平洋を横断して北アメリカへ向かう旅客の重要な乗り継ぎ拠点（ハブ）として機能してきた。そのため、他のアジアの主要空港と比較して、北アメリカ方面への乗り継ぎ旅客の割合が非常に高い特徴がある。
問7	答え 1 フランス	ヨーロッパ最大の農業国であり、広大な平原と温暖な気候を活かして小麦やトウモロコシの大規模な栽培が行われている。これらの穀物の自給率は150%を超え、世界有数の輸出国となっている。一方で、米の栽培は南部のローヌ川デルタ（カマルグ地方）などに限られており、自給率は極めて低い。
問8	答え 4 南極大陸	大気中の二酸化炭素濃度は、植物の活動が活発な夏季に低下し、冬季に上昇するため、植生が豊かな地域ほど季節変動の振幅が大きくなる。これに対し、氷床に覆われ植生がほとんど存在しない南極大陸では、植物による二酸化炭素の出入りがほぼないため、季節変化の振幅は極めて小さくなる。昭和基地は南極大陸に位置する日本の観測拠点であり、地球規模の環境変動の監視において重要な役割を果たしている。
問9	答え 2 飼料	ヨーロッパでは肉類や乳製品の消費が多く、家畜を育てるために穀物が大量に消費されるため、飼料としての用途の割合が非常に高い。これに対し、アフリカなどでは穀物を直接人間が食べる食料としての用途の割合が高いという特徴がある。
問10	答え 1 寺町	近世の城下町では、軍事的な防衛拠点としての役割や、寺社領の管理・宗教統制の観点から、特定のエリアに寺院を集中的に配置した。これが「寺町」と呼ばれる街区である。寺院の広い境内や強固な建物、塀などは、有事の際に防衛陣地や出城としての機能を果たすことが期待されていた。門前町は特定の有力な社寺の周辺に自然発生的に発達した都市であり、城下町の一部として計画的に配置された寺町とは起源が異なる。